



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

支度(したく)

いよいよ3月。3月は「弥生(やよい)」とも言いますが「弥生(いやおい)」が変化したもののようです。「弥(いや)」は、いよいよ、ますますなどの意味。「生(おい)」は、草木が芽吹くという意味だそうです。草木がだんだんと芽吹く月、いよいよ草木が芽吹く月という意味で「弥生」となったようです。

3月は別れの季節でもありますが、草木が新しい生命を芽吹かせるように、新しいもの、新しいスタートへの希望や期待感が芽生える季節だとも思います。そしてそれは、みんなにとってもかけがえのない時間。

学校では6年生の卒業、そして各学年の修了へ向け、卒業式の練習や各学年での学習のまとめに頑張っています。それと共に、下記に載せた「支度(したく)」という詩のように、次のステップへの夢や希望を思いながら、しっかりと『心の支度・準備』もしておきたいものです。

支度 黒田 三郎

何の匂いでしょう

これは

これは

春の匂い

真新しい着地の匂い

真新しいかわの匂い

新しいものの

新しい匂い

匂いのなかに

希望も ゆめも

幸福も うっとり

うかんでいるようです

ごったがえす 人いきれのなかで

だけどちょっと 気がかりです

心の支度は

どうでしょう

もうできましたか



植物も春に向け準備中



「感謝」の気持ちをお伝えしました。

『読み語り』ボランティアのみなさん

心を耕す豊かな時間を ありがとうございました。



毎週水曜日の朝は『読み語り』の時間。「東風」、「やよいの会」、「平戸口社会館」3つの会の皆さんがボランティアで実施

してくださいました。そこで先週の水曜日には、この一年の読み語りボランティアへのお礼の会を行いました。

子ども達一人一人が書いた感謝の気持ちを届けるお礼の寄せ書きのメッセージには、「水曜日はワクワクします。」「水曜日の朝が楽しみです。」など、楽しみにしていた様子がうかがえる言葉が沢山並んでいました。

物語の内容と共に、読んでくださる方の、子ども達を大切に思ってくださいる思いが、温かな眼差しになり、笑顔になり、声となり、言葉となって子ども達を包みこみ、子ども達一人一人の心のポケットに届いていたからだと思います。

短い時間しか設定できませんでしたが、本当に心豊かになる素晴らしい時間でした。ボランティアの皆様、朝のお忙しい時間にお越しいただき、誠にありがとうございました。29年度もよろしくお願ひいたします。子ども達が楽しみに待っています。

